

東北の同胞達が一日二食食べながら日本の小学校に避難してる日本の方々におにぎりを大量作って差し上げているのと、東京の同胞達がトラックを運転して支援品を持ってきた内容を含め、東北の同胞の方々のご協力のおかげ、コムプレスは、昨日YTN(韓国のニュース専門テレビ局・TBSの協力社)にてニュースとし発信することが出来ました。

【スクリプト日本語訳】2011-03-18 00:07

[アンカーコメント]

日本の大地震の惨事で、多くの人々が絶望に陥って大変な日々を過ごしていますが、被災地域に住む私たちの同胞たちが自分たちの食料を大切に、日本の住民たちに配る隣人愛を実践しており、感動を与えています。仙台からパクサユリ Reporterがお伝えします。



[レポート]

ラーメンや飲料水など生活必需品をたくさん積んだトラック2台が到着しました。避難所に集まって共同生活をする同胞たちのために東京から送られた救援物資です。地震で同胞たちの状況は最悪ですが、全国各地から差し伸べられる助けの手に心は暖かくなります。



[インタビュー: ユンギルスン, 同胞]

"他の地方でも地震が続きますが、何時間もかけて長い距離を駆つけて来て、本当にありがとうございます。"

[インタビュー: クォンユニ, 同胞]

"多くの困難な人々がいる中でのサポートを受けるほどたくさんの力を出して、また困難のある人々に私たちが懸命に支援を与えることができればいいと思っています。"



同胞たちは大変な境遇の中でも、他の避難所にある日本の住民を支援しています。1日2食だけ食べながら、節約した米でおにぎりを丹念に作って提供し、激励しています。



[インタビュー: ユンジョンチョル, 同胞]

"私たちを理解してくれて、普段から連携がある学校に私たちが支援に行きました。行ってとてもよかったです。"



お互いに困難なときに助けあう暖かい心が絶望的な状況の中で希望の光となります。仙台からYTNインターナショナルのパクサユです。〔以上〕

